

自治体名	長野県中野市
自治体の概要	<p>中野市は、長野県の北東部に位置し、人口は約 4.1 万人、面積は 112.18 km²。産業別就業者数は、第 3 次産業が最も多く、次いで第 2 次産業、第 1 次産業となっています。</p> <p>また、第 1 産業の就業者数の全体に占める割合が長野県全体及び全国よりも多いことから農業が盛んな地域です。</p> 
アクセス方法	<p>【電車】</p> <p>東京駅→長野駅 北陸新幹線（約 1 時間 45 分） 8,540 円</p> <p>長野駅→信州中野駅 長野電鉄（約 45 分） 1,030 円</p> <p>【車】</p> <p>練馬 IC→藤岡 JCT→信州中野 IC（約 2 時間 30 分） 5,550 円</p>
主な特色 PR ポイント	<p>中野市は昼夜の寒暖差が大きいというのに降水量が少ないことから、果樹栽培に適した気候で、ぶどうや桃、さくらんぼなど、全国有数の品質と生産量を誇る農産物の宝庫です。また、施設型農業も積極的に展開しており、特にエノキタケは日本一の生産量を誇り、全国シェアの約 40%を占めています。</p> <p>また、市内には 850 種 3,000 株のバラが咲き誇る一本木公園があり、毎年開花時期に開催される「バラまつり」には、全国から多くの観光客が訪れています。</p> <p>中野市には「土人形」という郷土玩具が古くから伝承され、全国的にもたぐいまれなる土人形の里です。土人形をより身近に感じていただけるよう、市内観光施設では土人形の絵付けを体験することができます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
主な地域課題	<p>農業就業人口の半数が 70 歳以上と高齢化が進んでいるとともに、10 年前と比較すると農業就業人口は大幅に減少しています。農業の担い手を確保するための各種支援を行っていますが、課題解決には至っていません。</p> <p>また、観光面においては市内の観光地延利用者数が 10 年程前から減少傾向となっています。</p>